《関連文化財群》…豊田市の歴史文化を伝える13のテーマ

（国）：国指定文化財、（国選）：国選定重要伝統的建造物群保存地区、（県）：県指定文化財、（市）：市指定文化財、（登）：国登録文化財

①神仏習合の霊山・猿投山

時代を越えて、今日も人々の信仰を集め、多くの人々を迎える猿投山の信仰に関わる文化財群。

＜主な文化財群＞

猿投山、猿投山の球状花崗岩（国）、猿投山のカツラ（市）、猿投七滝、舞木廃寺塔跡（国）、池田１号墳（県）、旧龍性院庭園（国）、神郷下遺跡（市）、武田道、白鳳山勝景図、棒の手（県・市）、猿投祭り　など

旧龍性院庭園

猿投山と猿投神社

②内陸交通と交流

物資輸送の拠点として繁栄を極めた足助や、在郷町として栄えた稲武など、モノ・ヒト・コトの交流の要となった、内陸交通に関わる文化が継承されている文化財群。

＜主な文化財群＞

今朝平遺跡（県）、豊田大塚古墳（県）、神明遺跡（市）、足助の町並み（国選）、稲武・武節の町並み、中馬街道、市木辻堂（市）、旧鈴木家住宅（国）、蔦屋岡本家住宅（市）、香嵐渓、足助祭り、足助春まつり　など

足助の町並み

旧鈴木家住宅

③武家の惣領“松平氏”

太平の世を築いた徳川家康のルーツである松平氏の事跡と、それを支えた人々の事跡や思想を今に伝える文化財群。

＜主な文化財群＞

松平氏遺跡（松平氏館跡・松平城跡・大給城跡・高月院）（国）、松平城山城跡（市）、松平東照宮、鳥鴨城跡、天下峯、円川古戦場跡、古鼠坂古戦場跡、鈴木正三遺跡（市）、紙木着色織田信長像（国）、松平親氏坐像（市）、木造徳川家康像（市指定）、権現祭、天下祭　など

高月院

松平親氏坐像

④矢作川と城下町

三河における物流や文化交流の拠点であった「衣（挙母）」「寺部」の歴史を物語る文化財群。

＜主な文化財群＞

長興寺、金谷城跡、下江湊（しものごうみなと）、挙母城（桜城）隅櫓跡（市）、七州城大手門鯱（市）、挙母城（七州城）隅櫓跡（市）、樹木の町並み、寺部城跡（市）、寺部の町並み、七州城図及び図説（市）、寺部城之図、挙母祭り、社町八幡宮例大祭（山車祭り）　など

寺部の町並み

挙母城（七州城）隅櫓跡

⑤製茶と喫茶

三河山地・豊田（挙母）盆地・碧海台地の自然・社会環境の中で育まれた、喫茶の習慣や製茶業を物語る文化財群。

＜主な文化財群＞

旧鈴木家住宅（国）内茶室、旧龍性院庭園新座敷、又日亭、松近亭、毛受庵、桶茶道具（市）、桶茶・寒茶・ヤマチャ・茶めし、高岡・上郷・下山地区に広がる茶畑の景観　など

桶茶道具（古橋懐古館蔵）

茶畑（下山地区）

⑥近現代の産業

地域を発展させるため、新たな産物・産業に取り組んだ近代の先人たちの事跡と、そのチャレンジ精神を今に伝える文化財群。

＜主な文化財群＞

寿町の達磨窯（市）、近代の産業とくらし発見館（登）、喜楽亭（登）、足助資料館、金山揚水、百々貯木場（市）、旧井上家西洋館（登）、加茂蚕糸跡（現産業文化センター）、モータリゼーション、企業文化　など

近代の産業とくらし発見館

旧井上家西洋館

《このまちの歴史文化を未来へつなげるために～保存・活用の方針～》

＜基本方針１＞

歴史文化及びその資料・情報を収集・保存し、発信するための取組を推進します。

- **文化財に関わる資料収集や収蔵方針を定めます。**
- **滅失を免れない場合の緊急的な記録保存のみならず、継続的に文化財を調査実施するための仕組みを構築します。**
- **文化財の情報や資料のデジタル化（画像・映像）とデータベース化を推進し、市民共有のアーカイブとして、公開・活用できる基盤を整備します。**

【たとえば…】

資料のデータベース化を進めます。

文化財を紹介し、その位置情報や活用状況等の情報をインターネット上で公開していきます。

＜基本方針２＞

市民が文化財の保存・活用に参加し、次世代へ継承していくための取組を推進します。

- **郷土学習スクールサポートや、とよた歴史マイスターの活動などにおいて、関連文化財群とそのストーリーを活用することで、文化財を身近に感じてもらい、保存と活用の気運を高めます。**
- **文化財や歴史文化を未来に継承する拠点として、郷土資料館の活動を充実し、新博物館の整備と、地域資料館・個別資料館の再構築を進めます。**
- **文化財や歴史文化に関わる、日常的な防災・防犯意識を高めます。**

【たとえば…】

とよた歴史マイスターなどの人や団体の育成を行います。

子どもたちへ文化財や歴史文化を継承していきます。

文化財への防災・防犯意識を高めていきます。

＜基本方針３＞

歴史文化を活用したまちづくりに資する取組を推進します。

- **地域振興の一つとして、歴史文化による観光分野との連携を推進します。**
- **市内外の人々が各地域の歴史文化を知ることができるように、様々な魅力発信を推進します。**

【たとえば…】

超小型電気自動車「Ha:mo」など、新しい技術を活用するための連携を進め、市内の文化財などを活用したツアーや体験プログラムを展開していきます。

豊田市を「ふるさと」として誇り、愛着を持って語ることができる市民が暮らす「まち」の実現をめざしていきます。

豊田市歴史文化基本構想（概要版）
編集：豊田市教育委員会教育行政部文化財課
発行：豊田市教育委員会

〒471-0079　愛知県豊田市陣中町 1-21-2（豊田市郷土資料館内）
TEL:0565(32)6561 FAX:0565(34)0095

発行日：平成 30 年 5 月

WE LOVE とよた

豊田市歴史文化基本構想【概要版】

～このまちの歴史文化を未来へつなげるために～

豊田市教育委員会

《歴史文化基本構想とは》

歴史文化基本構想は、指定・未指定の文化財について、保存と活用を総合的に進めるためのマスタープランとして、策定されるものです（平成30年3月までに全国88市町村で策定済）。豊田市は、多種多様な歴史文化が息づく都市として、それを未来へ継承していくため、保存・活用の基本方針を定めました。

《豊田市の文化財》

右表のとおり、平成30年3月現在、豊田市には、国・県・市が指定した指定文化財が323件あり、国・県の指定文化財数では、県内3位となっています。

指定・未指定の文化財について、文献把握や現地調査を行ったところ、豊田市には、矢作川を始めとする豊かな自然に育まれた、数多くの文化財が分布することがわかりました。多様な自然を表す天然記念物、旧石器時代から近現代に至る歴史を語ることができる文化財が、市域全体に分布しています。

■豊田市指定文化財等一覧

種類		国	県	市	合計
有形文化財	建造物	2	2	9	13
	工芸品	3	3	22	28
	絵画	4	6	16	26
	彫刻	1	4	32	37
	文書			8	8
	書跡・典籍	3	3	4	10
	考古資料	1	3	14	18
民俗文化財	有形民俗文化財		2	21	23
	無形民俗文化財	1	8	11	20
記念物	史跡	2	4	26	32
	名勝	1		1	2
	天然記念物	2	10	94	106
合計		20	45	258	323

その他　・重要伝統的建造物群保存地区　1件
・国登録文化財　19件
・埋蔵文化財包蔵地　1,370件

《豊田市の歴史文化の特性》

豊田市の多様な自然環境や社会環境を踏まえ、豊田市の歴史文化の特性を、以下のように整理しました。

豊田市の歴史文化の特性

【豊田の土地柄ー自然環境・社会環境ー】

【自然環境】

・日本列島の樹林分布において、落葉樹林が主体的に分布する西限であり、常緑広葉樹林と接する地域
・東海湖に堆積した瀬戸陶土層
・三河山地と矢作川水系、逢妻男川・女川、猿渡川　など
・河川が形成した盆地群と、高地と低地が隣接し、斜面地に富んだ狭隘な地形
・豊かな山林・水域に多種多様な動物相・植物相

【社会環境】

・周辺環境と比べ、農業や交通には地理的に不利な条件下で生まれた、土地と資源を多角的に利用する「知恵」
・「知恵」と「技術」を修得し、年間を通じて労働する「勤勉な姿勢」
・盆地が居住の単位となり、社会的なきずなやコミュニティが生まれたことによる、多様な歴史文化

＜生業＞

- 豊かな自然環境の多角的利用による生業
- ものづくりによる生業
- 交流による生業

相互の関係性

＜精神性＞

- **自然への信仰／祭礼による地域のきずな**
  猿投山への信仰／山車祭り・棒の手・地域のお祭り
- **自立自尊・質実剛健で文化的な活動を大切にする気質**
  中世城館／三河武士／喫茶・地芝居・俳句
- **連帯・勤労・地域貢献に富む思想と行動**
  治水事業／松平家のフロンティア精神／鈴木正三／古橋家の村落殖産

【高度経済成長期以降の急成長】
ものづくり都市としての急成長／日本・世界の各地から多様な歴史文化を背景とした人達の転入

【現在から未来へ】
転入者と共に活躍し発展する地域／企業・団体による地域社会への貢献／地域資源を生かした様々な活動

⑦川に生かされ、川を生かす

矢作川をはじめとする河川や自然とともに暮らしてきた人々の知恵と行動力を物語る文化財群。

＜主な文化財群＞
矢作川・境川水系の自然と動植物、矢作川河床埋没林、曽根遺跡・曽根遺跡出土遺物（市）、酒呑ジュリンナ遺跡（市）、水入遺跡、百々貯木場（市）、鮎釣船、梁漁、鮎釣り、勘八峡、筏流し、土場跡、渡し場跡、発電所　など

矢作川河床埋没林

⑧地域の信仰と祭礼

家内・村内の安全や農作物の豊穣を願う信仰や祭礼を物語る文化財群。

＜主な文化財群＞
手呂の銅鐸（県）、天下峯遺跡、杉本の貞観スギ（国）、綾渡の夜念仏と盆踊り（国）、坪崎の火鑽神事（県）、銭太鼓（県）、棒の手（県・市）、阿蔵念仏踊り（市）、市内の春・秋祭り、市内各地の講、押し寿司などの行事食、五平餅　など

綾渡の夜念仏と盆踊り

⑨農村舞台と地芝居

農村舞台を始め、市域の歌舞伎文化が盛んであったことを物語る文化財群。

＜主な文化財群＞
市域の農村舞台、歌舞伎万人講石碑（藤岡・旭）、市内の歌舞伎保存団体、歌舞伎の衣装・小道具、土人形（歌舞伎）、歌舞伎の引幕、人形浄瑠璃の首と衣装（県）、小田木人形座　など

歌舞伎衣装

⑩城下町や在郷町の祭礼～山車祭り～

市内の山車祭礼の盛んな様子を物語る文化財群。

＜主な文化財群＞
挙母神社の山車（県）、高橋町の山車（市）、平井町の山車（市）、百々町の山車（市）、志賀町の山車（市）、足助八幡宮の山車（市）、市内の山車祭り、挙母祭りばやし（市）、高橋・平井・百々・志賀町のはやし（市）、足助祭りはやし　など

挙母祭り

⑪庶民の武芸～棒の手～

今も市域の神社などで熱心に演じられる棒の手とその歴史を物語る文化財群。

＜主な文化財群＞
市内の棒の手保存会（猿投・挙母・松平・藤岡・足助・旭地区）、棒の手で使用する道具、棒の手ふれあい会館、白鳳山勝景図、合宿絵図、郷社六所神社図記、棒極意免許之巻　など

猿投の棒の手

⑫地域の誇り～建造物～

市域各地の歴史文化に育まれ継承された建築文化を物語る文化財群。

＜主な文化財群＞
足助八幡宮本殿（国）、旧鈴木家住宅（国）、旧山内家住宅（県）、旧海老名三平宅（市）、六鹿邸（市）、市内の農村舞台、藤岡民俗資料館（旧藤岡中学校特別教室）（登）、豊田市民芸館、足助城（復元）、豊田市美術館、豊田スタジアム　など

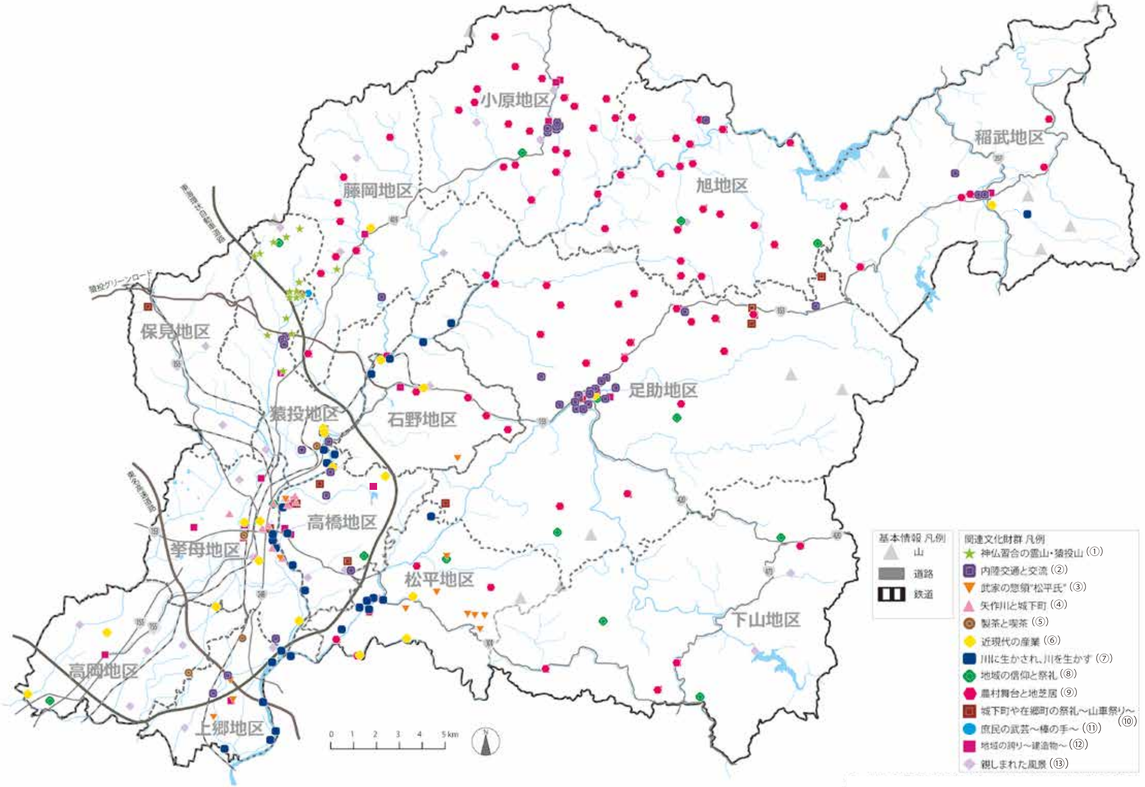
足助八幡宮本殿

⑬親しまれた風景

古くからの風景、新しい風景を合わせて、豊田市らしい、未来へ残していきたい風景による文化財群。

＜主な文化財群＞
猿投山、豊田高専桜並木、古瀬間城址公園、吉原町の茶摘み、ふじの回廊、道慈山観音寺の仁王像（市）、川見四季桜の里、香嵐渓の紅葉と巴川、新緑の羽布ダム、上中のしだれ桃、瑞龍寺のシダレザクラ（県）　など

猿投山



■関連文化財群を構成する主な文化財（無形民俗文化財を除く）